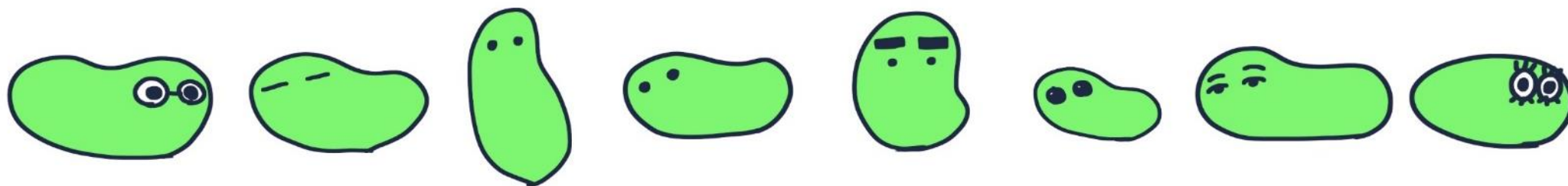


ゼロカーボンシティやお再エネ・省エネ推進事業 補助金について

ZERO CARBON



八尾市環境部環境保全課
植田 和典

目次

- ◆国内外の脱炭素に関する動向
- ◆八尾市での脱炭素に向けた目標及び取組
- ◆八尾市における事業者への支援メニュー
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）
- ◆令和5年度重点対策加速化事業の報告
- ◆令和6年度重点対策加速化事業の計画

国内外の脱炭素に関する動向

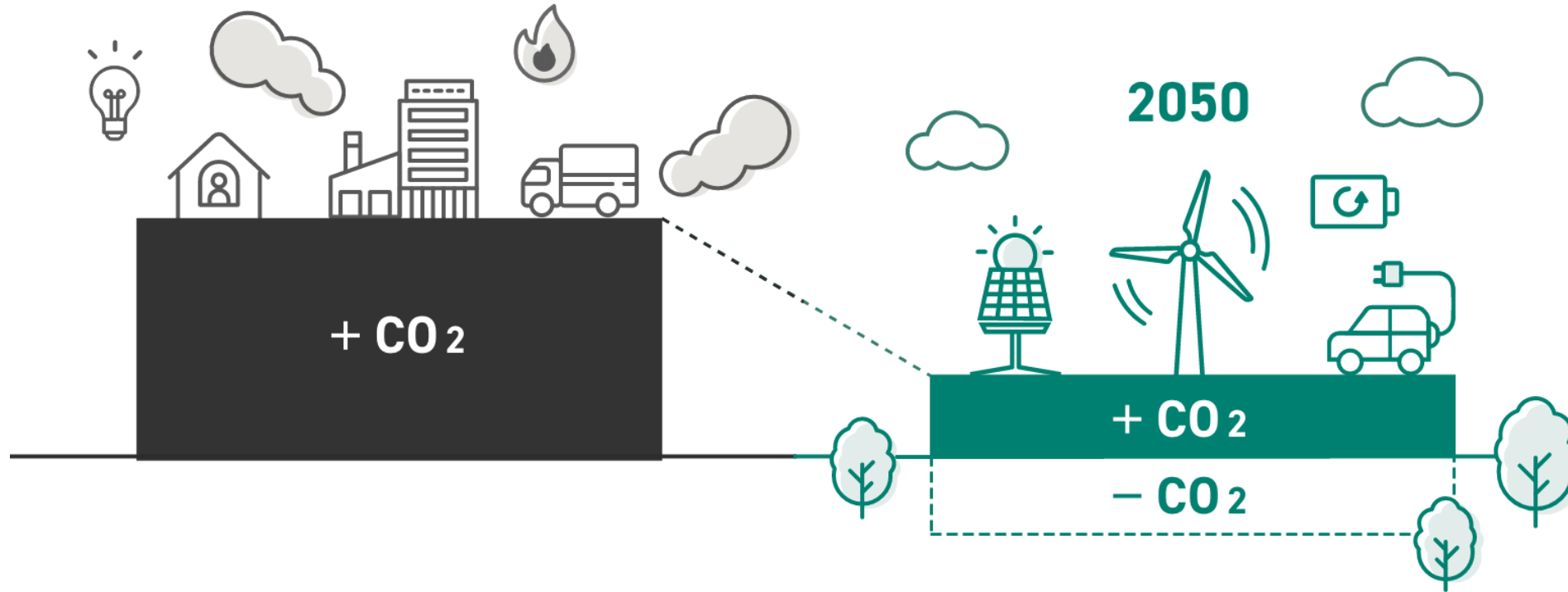


■ 菅内閣総理大臣所信表明演説 (R2.10.26)

2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわちカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現をめざすことを宣言。

■ 岸田内閣総理大臣所信表明演説 (R3.10.8)

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、温暖化対策を成長につなげる、クリーンエネルギー戦略を策定し、強力に推進することを表明。



ずばり
ゼロカーボン
とは…

温室効果ガスの排出
量を全体としてゼロ
にすることです！！

家庭で使った電気・ガスに伴うCO₂ + 工場で使ったエネルギーに伴うCO₂ + 自動車で使った燃料に伴うCO₂ など

地域から排出される温室効果ガス

$$- \text{森林等が吸収する温室効果ガス} = \pm 0$$

国	大阪府	八尾市
R2.10.26 所信表明演説にて、カーボンニュートラルを宣言	R1.10.7 大阪府議会9月定例会本会議にて知事がカーボンニュートラルを表明	R3.4.1 「ゼロカーボンシティやお」を宣言
2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロをめざす	2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす	2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす
1013自治体がカーボンニュートラルを表明 (R5.12.28時点)	大阪府下29自治体がカーボンニュートラルを表明 (大阪府を含む) (R5.12.28時点)	大阪府下12番目の自治体として、カーボンニュートラルを表明

八尾市での脱炭素に向けた目標及び取組

八尾市の面積の

35倍

この数字は環境に関する
ナニカです。

八尾市の面積の

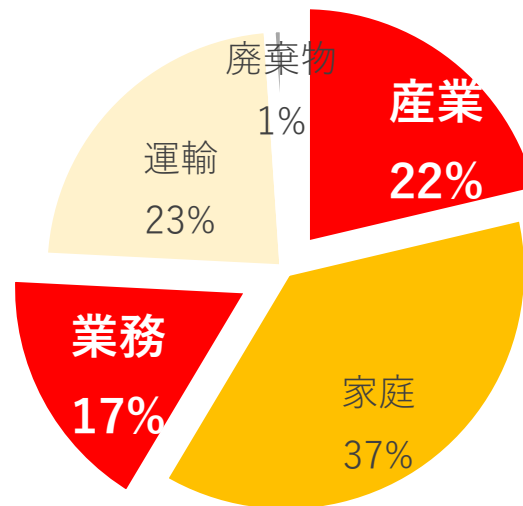
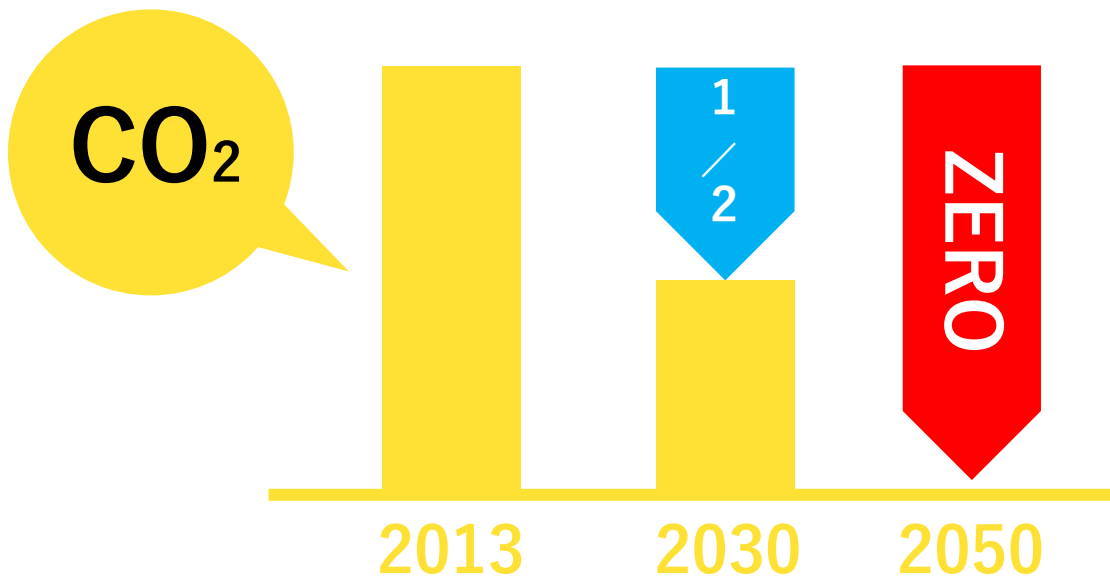
35倍

八尾市から排出される
二酸化炭素を吸収する
ために必要な杉人工林
の面積



八尾市の目標

2050年度までに二酸化炭素排出量実質**ゼロ**
2030年度に2013年比で**50%**削減



2030年度目標の二酸化炭素排出量総量に対する2030年度目標達成のために必要な部門ごとの二酸化炭素削減量の割合

2030年度50%削減の目標を達成するには、二酸化炭素の排出量を

家庭で**67%**削減 (2013年度比)

産業で**43%**削減 (2013年度比)

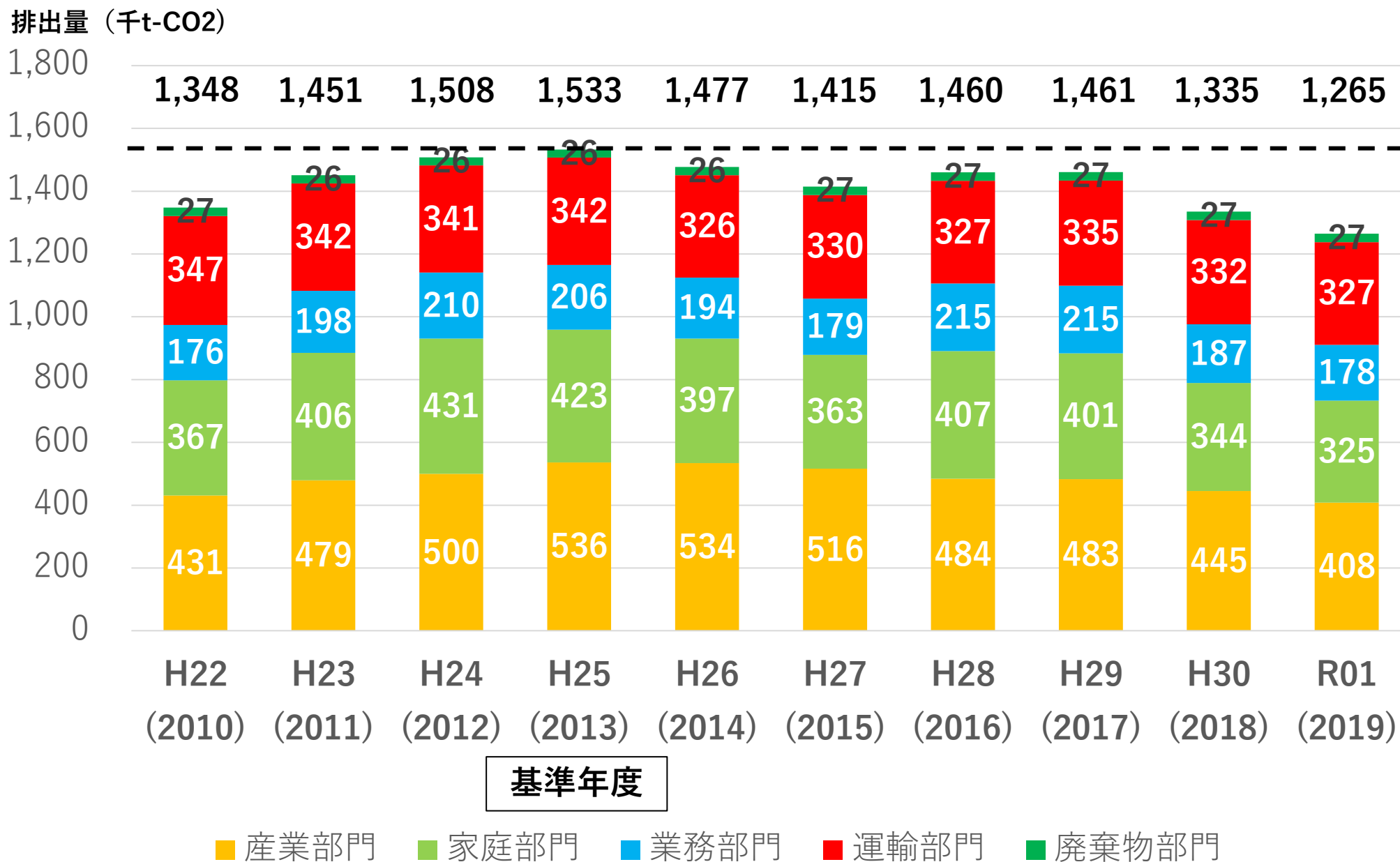
業務で**55%**削減 (2013年度比)

しなければならない。

再エネを活用したり、機器の省エネ化など、さまざまな取組を進めていく必要がある。

八尾市での脱炭素に向けた目標及び取組

八尾市における 二酸化炭素排出量



八尾市は

2021年4月に

ゼロカーボンシティやお

を宣言しました。

2050年度までに

二酸化炭素排出量

実質ゼロをめざします。

ゼロカーボン シティやお宣言



Zero Carbon City YAO

円とってみなで取組み、0カーボンシティをめざします。

地球温暖化による気候変動は、異常気象による災害や生態系の変化など、地球規模で大きな影響を及ぼしています。今後、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出が続けば、猛暑や巨大台風などによる風水害の発生の増加が懸念されることから、全ての人が現状を認識し、主体的に地球温暖化対策を行うことが重要となっています。

2015年にパリ協定が合意され、IPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「気温上昇を1.5度に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

こうした背景から、本市では八尾市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・チャレンジやお）に掲げる「一人ひとりが地球温暖化対策に取り組んでいるまち」の実現に向けて、共創と共生の地域づくりの考え方を踏まえ、市民・事業者・行政等の多様な主体が連携し、環境・経済・社会における地球温暖化の課題を主体的に解決し、2050年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ」へチャレンジすることを、ここに宣言いたします。

令和3年（2021年）4月1日



八尾市長 大松 桂右

ゼロカーボンシティやお推進協議会



2050年のこどもたちの未来が持続可能な社会となるよう、多様な主体が調査・研究・実践・支援などを行うためのネットワークを育む場として発足。

多様な
ステークホルダー

消費者団体・エネルギー供給事業者・配送事業者・バス会社
スーパー等の小売店舗・ものづくり企業・ハウスメーカー
保険会社・金融機関・環境省・国交省・経産省・大阪府・八尾市
その他参加を希望する団体・個人

105団体登録
(R6.3.26時点)

商業施設におけるイベントでの啓発



2025年大阪・関西万博 開幕500日前
EXPO 500 Days to Go in Yao /
SDGs x ECO FESTIVAL
ゼロカーボンの取り組みをはじめエネルギー講座、八尾の生物多様性などの「環境」をテーマとした親子向けのワークショップや水展示などでお楽しみいただけます。

アリオ八尾・LINOAS 11/4(土) - 11/5(日)
10:00 - 17:00

イズミヤショッピングセンター八尾 11/12(日)
10:00 - 16:00

日本一ゆる〜い? 環境サミット &

ゆるキャラたちの写真撮影会 (11/4)

八尾市内のゆるキャラはもちろん、八尾市外からもゆるキャラたちが駆けつけて、地球環境やSDGsについて語るサミットを開催。いっしょに写真撮影もできるよ!!



会場をまわって、謎を解こう!! 謎解きラリーを開催!!

会場に散りばめられた謎を解き、会場を駆け巡ろう!! 謎を解けた人に、プレゼントがあるよ!!



参加費: 100円

太陽の光で、動く!! ソーラーカー等をつくろう!!

太陽の光で動くソーラーカーをつくって、エネルギーについて考えよう!!



他にも企画は盛りたくさん!! 詳しい内容は裏面をご確認ください。

会場: アリオ八尾 (11/4-11/5)、LINOAS (11/4-11/5)、イズミヤショッピングセンター八尾 (11/12)
主催: 八尾市 協賛: 株式会社アーク、広報デザインDOORS
協力: アリオ八尾、LINOAS、株式会社エー・オー・商業開発、ゼロカーボンシティやお推進協議会
問い合わせ先: 八尾市環境部環境保全課 (TEL: 072-924-9359)



各役割

(八尾市)
ちらしの作成、学校へのちらしの配布。会場管理者(商業施設)と連携し、各出展団体・企業の出展について調整。

(商業施設)
会場の調整、備品の貸し出し、音響関係節の調整。

(出展団体・企業)
出展内容を通じて、市民への啓発を実施。また、一部企画においては、協賛物品の提供も。

ZEHモデルハウス見学会



八尾市内初の無料宿泊体験ができるゼロエネルギーハウス(ZEH)が設立。

※ZEHは（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の略で、住宅の高断熱化と省エネルギー機器の導入により、消費エネルギーを減らしつつ、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで1年間で消費する住宅のエネルギー収支を概ねゼロにすることをめざした住宅。

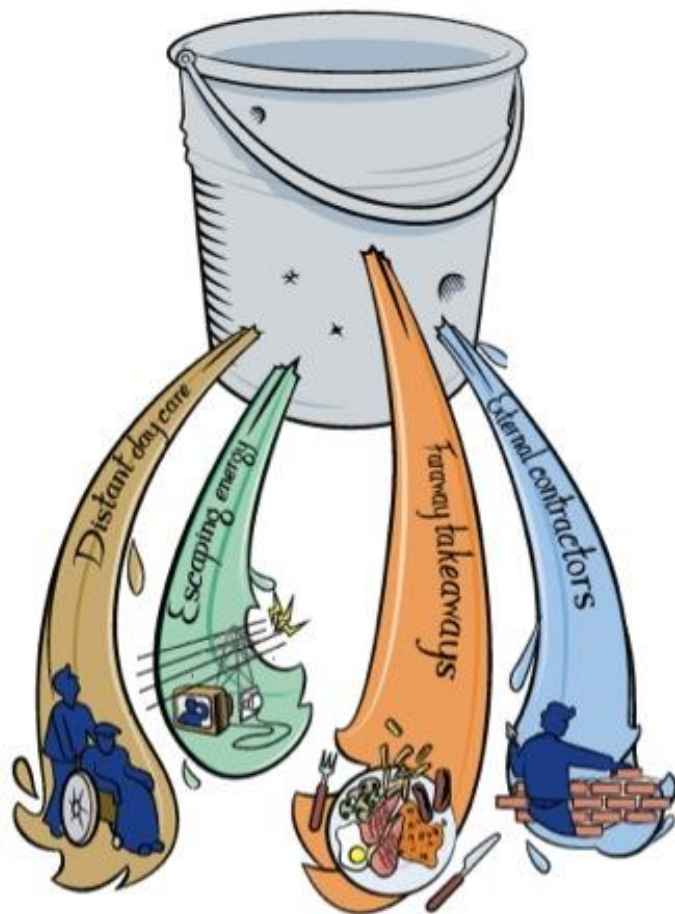
770 億円／年

770億円／年

域外から購入する エネルギー代金

漏れバケツ理論

New Economic Foundation「Plugging the Leaks」より

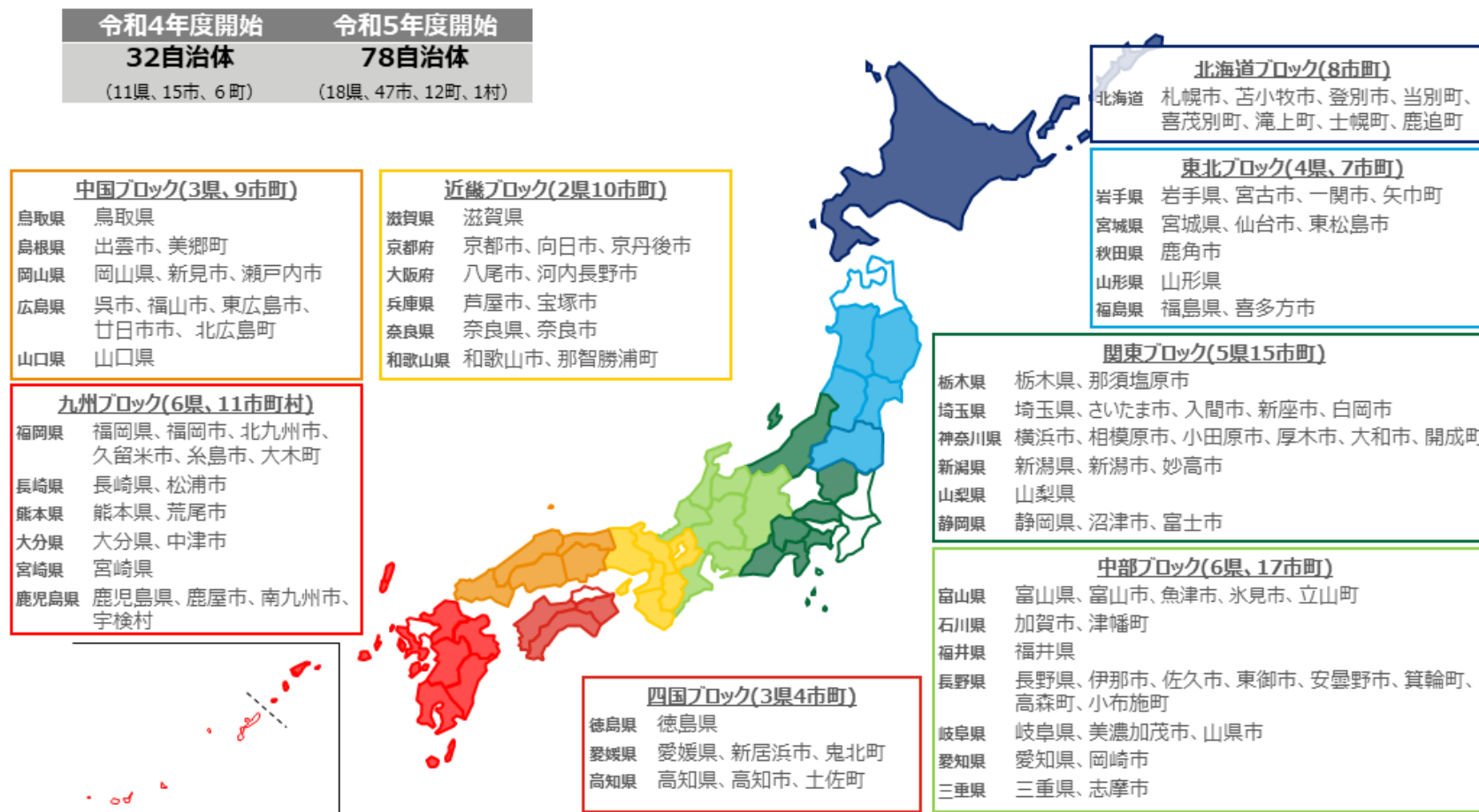


投資や観光、輸出、年金などで入ってきたお金も、域外での支出、エネルギー購入、外部の従業員を雇うこと、などでどんどん漏れ出ていく。

八尾市における事業者への支援メニュー

令和4年度より環境省による「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」が開始

「地域脱炭素ロードマップ」及び地球温暖化対策計画に基づき、脱炭素事業に意欲的に取り組む地方公共団体等を複数年度にわたり継続的かつ包括的に支援するスキームとして交付金を設置。



110自治体 (29県・62市・18町・1村) が採択を受け、大阪府下では、**河内長野市**と**八尾市**のみ採択を受けた。

令和5年度に環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」に応募し採択されました。



◆補助総額

約 **6億円**

◆補助年度

令和 **5** 年度～
令和 **10** 年度

◆交付要件

再エネ発電設備を一定以上導入すること
中核市では1MW以上

令和5年度 重点対策加速化事業の報告

太陽光発電設備

高効率照明機

高効率空調機

補助率

3万円/kW

本体価格の1/2

本体価格の1/4

上限

90万円

100万円
(下限20万円)

20万円

予算額

450万円

500万円

200万円

予算額
1,150万円

令和5年度 重点対策加速化事業の報告

	太陽光発電設備	高効率照明機	高効率空調機
件数	1件	6件	3件
執行額	90万円	325万6千円	47万3千円

事業者用

ゼロカーボンシティやお再エネ・省エネ推進事業（事業者用）補助金

これからの企業活動をゼロカーボンに

最大※1

210万円

補助

ア. 太陽光発電設備の設置補助 予算額：450万円

補助率：3万円/kW
上限：90万円

要件

- 自家消費型で電力量の50%以上を自家消費
- 中古設備でない
- 発電量を計測する機器を備える

太陽光発電設備
売電ではなく、自家消費型が対象です。

イ. 高効率照明機器の設置補助 予算額：500万円

補助率：1/2
上限：100万円（下限20万円）

要件

- 中古設備でない
- 調光制御機能を有するLED

高効率照明機器
調光型LEDが対象です。

ウ. 高効率空調機器の設置補助 予算額：200万円

補助率：1/4
上限：20万円

要件

- 中古設備でない
- 従来の空調機器等に対して30%以上省CO₂効果
- アロン類の管理に関する点検の実施

高効率空調機器
30%以上の省CO₂効果が得られる機器が対象です。

申請は、書面による提出と電子申請があります。

予算がなくなり次第、受付終了

申請期間

2023.8.31 - 2024.1.31

※1 太陽光発電設備、高効率照明機器、高効率空調機をすべて導入した場合

当事業は、環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（基本対策加速化事業）を活用しています。

問い合わせ先 八尾市環境部環境保全課 (TEL. 072-924-9359)

受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)

補助金に関する詳しい情報はこちら▶

〇Y= 八尾市

令和6年度 重点対策加速化事業の計画

令和6年度 重点対策加速化事業の計画

	太陽光発電	高効率照明機	高効率空調機	車載型蓄電池	蓄電池
補助率	5万円/kW	本体価格 の1/2	本体価格 の1/2	2万円/kWh	本体価格 の1/3
上限	250万円	100万円 (下限20万円)	40万円	85万円	19万円
予算額	約 2 億円				

太陽光発電設備

高効率照明機

高効率空調機

車載型蓄電池

蓄電池

要件

- ・ 中古設備でない
- ・ **FIT制度又はFIP制度の認定を取得しない**
- ・ **発電電力の50%を自家消費**
- ・ 発電量を計測する機器を備える

- ・ 中古設備でない
- ・ **自動調光制御機能を有するLED**

- ・ 中古設備でない
- ・ **従来の空調機に対して30%以上の省CO₂効果**

- ・ 中古設備でない
- ・ **太陽光発電設備の付帯設備**
- ・ 太陽光発電設備と接続して充電を行う

- ・ 中古設備でない
- ・ **太陽光発電設備の付帯設備**
- ・ 太陽光発電設備と接続して充電を行う

補助金詳細

申請期間 ⇒ 令和6年5月中旬から令和7年1月中旬

※予算がなくなり次第、受付終了となります。

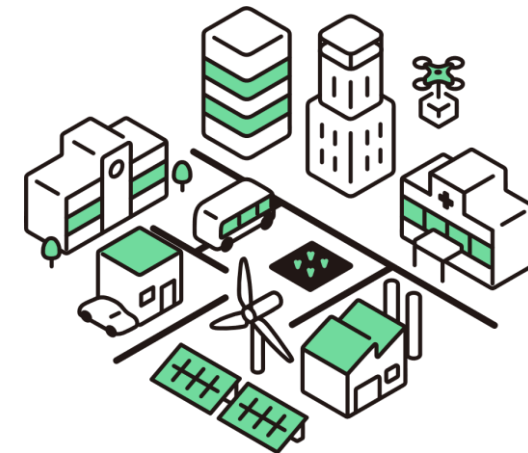
補助対象者 ⇒ ◆八尾市内の事業所に新たに補助対象設備を導入

◆大阪府脱炭素経営宣言を行う → 

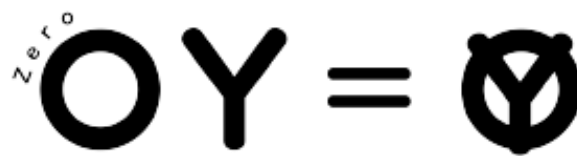
◆ゼロカーボンシティやお推進協議会に参画 → 

問い合わせ ⇒ 八尾市環境部環境保全課

072-924-9359



ご清聴ありがとうございます。



Zero Carbon City YAO

円となつてみんなで取り組み、0カーボンシティをめざします。